

千里丘北留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和４年度）

Ⅰ 育成室の概要

（１）児童数・教室数（令和５年３月１日時点）

児童数 257 人（うち配慮を要する児童 6 人）						教室数
内訳	１ 年	２ 年	３ 年	４ 年	５・６ 年	７ 教室
	83 人	97 人	57 人	19 人	1 人	

（２）受託事業者

社会福祉法人光聖会（契約期間：平成 30 年 4 月～令和 5 年 3 月）

他に受託している育成室（山三育成室）

Ⅱ 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	3
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	3
5	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	3
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	2
8	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

Ⅲ 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を高い水準で履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に大きく貢献している。
- ②保護者アンケートの「育成室を安心して利用することができている。」の設問で、「そう思う・少しそう思う」の回答が合わせて約 97%であり非常に高い割合である。
- ③令和４年度から運営する教室数が１教室増加し、７教室での運営となったが、安定したクラス運営を行うため、隣接するクラス間で協力し合うことで休憩時間を確保するとともに、日々指導員間で情報共有を行い、他クラスの児童にも関わりを持つことができるようにしている。また、独自でそろばん学習を取り入れるなど、児童の学習活動への工夫が見られる。
- ④令和３年度末頃から学校敷地外（隣接地）での運営となり、これまでと比べ学校との連携が課題となっているが、随時の連絡に加えて、週に数回、小学校の管理職と話し合う場を設けるなど、円滑な連携に努めている。